

令和4年度 1人1台端末の活用による実践事例

学 校 名		岡山県立西大寺高等学校		
実践者等		木村由香	実践日	令和4年5月12日
実践場面 (教科・科目(単元名)、学校行事等)		情報・情報Ⅰ (コミュニケーションとメディア)		
対象生徒 (学年等)		普通科1年		
育成を目指す資質・能力		☐ 知識・技能 ☒ 思考力・判断力・表現力等 ☐ 学びに向かう力・人間性等		
分類	授 業 中	☒ クラウドやアプリの活用 ☐ デジタルデータの保存 ☒ 思考やデータの可視化		
		☐ データの共有や共同編集 ☒ 対話を充実させる活用 ☐ 思考を促す活用		
		☐ 表現を充実させる活用 ☐ 課題のやり取りと評価の支援 ☐ 効率化や省力化		
		☐ その他 ()		
	家庭学習	☒ 振り返り ☐ 探究 ☐ 反転学習 ☐ 補習・定着		
実践の内容				
(1) 解説 ・ スライドを用いて「コミュニケーションとメディア」について解説。 ・ 生徒は教科書に記載されている箇所を確認しながら、アンダーラインやメモを加える。 				
(2) 思考 ・ 「メディアリテラシー」における「情報を受け取る際、信憑性を確認することが大切」の場面において、スライド上で事例を見せる。 ・ 生徒は事例を見て、ペアワークを行い、相手に自分の考えを説明する。 ・ Formにて作成した入力シートを配信し、説明した自分の考えを入力し、提出するよう指示。授業中に入力が完了しない場合には、自宅にて完了させることを指示。 ・ 次回授業にて、スプレッドシートで各自の考えを見せる。(個人が特定できないように番号や氏名の列は隠す) 				
(3) (2) が終わり次第、問題集を用いて、復習することを指示。答え合わせを終えたページは端末で写真を取り、所定の期日までにクラウドで提出するよう指示。				
【本時と家庭学習との連動】 (授業後) ・ 問題集の解答を授業の翌日以降、提出日の2日ほど前までにClassroomを通じて配信し、学習した内容を家庭で定着させる。 ・ Formで作成したシートに家庭にて入力する時間を取るにより、あらためて考えを巡らせ、ペアワークでの経験をもとに、情報を整理し、表現することがねらい。				